

情報社会と科学

「波動」

10/29, 11/5, 11/12, 11/19

長島雅裕
(長崎大学教育学部)

前回講義に対するコメントから

「水伝」について、確認

- 水が「ありがとう」「ばかやろう」などの言葉に反応することはありません。
- これは、科学的に既に否定されていることです。可能性はまったくありません。
- 「水伝」をもとにした道徳は、「水伝」の「科学的」説明の正当性が否定された途端、崩壊します。その点、ファンタジーや御伽噺とは性質が違います。
- 今日これからお話するように、「水伝」的二世科学は、自由で民主的な社会を歪ませ崩壊させる基盤にすらなる可能性があります。

• 波動がないことが証明されたら、波動測定器の販売は問題にならないか？

- 彼らの言う「波動」なるものが「ない」という証明ができそうにないので、たぶん問題にならないでしょう。
- いくら、物理学的な波動とは違うといっても、彼ら独自の波動理論を根拠にされてしまうと、なかなか難しそうです。
- ただし、なんらかの効能を謳い出せば、法律的に問題になる可能性はあります。

• 占いには根拠があるのでしょうか？

- 科学的な根拠は、私は聞いたことがありません。
- 占い師側には占い師なりの根拠はあるのですが……。
- 人生、決断の連続です。決断するとき、価値観が入る場合が多いでしょう。科学的判断だけでは決められない場合が多い。また、人間は弱いもので、自分で決断の責任を引き受けられない場合も多いでしょう。
そんな時、占い師に頼りたくなる気持ちもわかります。
- 科学的にはともかく、占いの意義を全面否定するつもりはありません。話聞いてもらうだけでも前向きになれるかもしれないし。
- 信じたければ、いいことだけを信じておけばいいのではないのでしょうか……？

• スプーン曲げはどうやっているんですか？

- たいていの場合、単に曲げているだけのようです。
- うまい位置に指を置くと、結構簡単に曲がります。
- 安齋郁郎さん(立命館大学)が上手いです。

・ 銀イオンってどうなんですか？

● 銀には殺菌作用があることが知られています。
応用も色々されているようです。

● 他にも金属元素絡みではゲルマニウム、白金ナノコロイド、
などなどあるようですが、効果が確認されているものはほとんどないようです。

- 植物に音楽を聞かせたり、話しかけたりすることは、
どうみるべきか？

●科学的に、それでよく育つ、のようなことは立証されていない
はずです。

●しかし、科学がすべてではありません。植物に話しかけること
で自分の気持ちが整理され、さらに思い入れを持つこともで
きるでしょう。音楽を聞かせることで、その植物を通して、音楽
に思いを馳せることもあることでしょう。

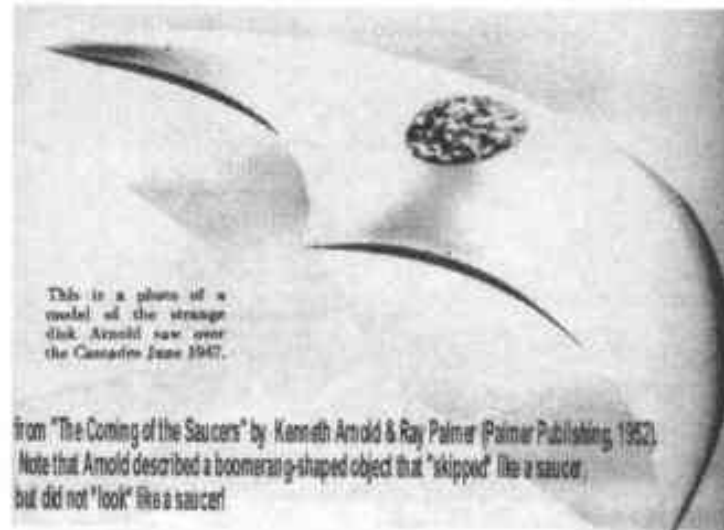
●潤いのある人生という観点からは、それはそれでいいので
は、と思います。

「UFO・宇宙人」

さあ、どう考えるべきか？

「空飛ぶ円盤」

- 発端は、1947年、ケネス・アーノルド(実業家)が操縦する飛行機から奇妙な物体を目撃したことにある。
- おそらく、軍の気球だったと思われる(当時は機密であった)。



図版①：1947年にアーノルドが目撃した飛行物体のイラスト。これが空飛ぶ円盤神話のきっかけとなった

「UFOとポストモダン」木原善彦

ジョージ・アダムスキー



24
25

「第2集 写真で見る空飛ぶ円盤・宇宙人200集」 矢追純一 編・著

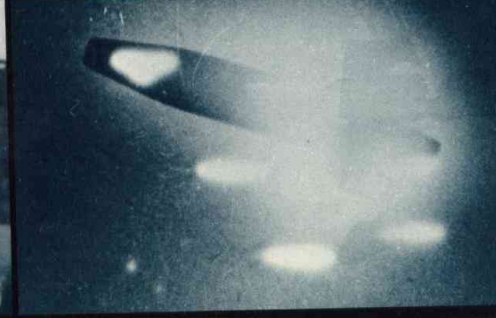
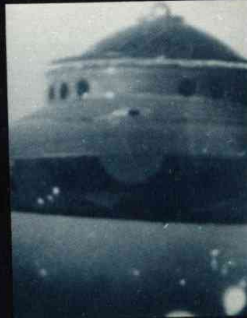
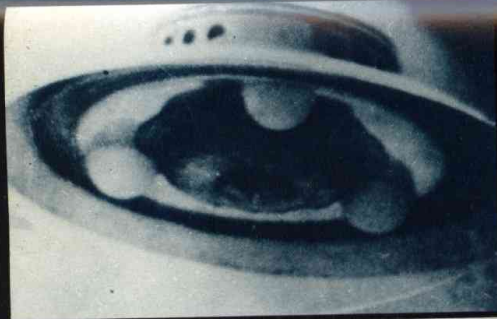
空飛ぶ円盤やUFOについて語る時、ジョージ・アダムスキーの名を忘れるわけにはいかない。当時アメリカカリフォルニア州パロマーガーデンに住んでいたアダムスキーは自宅の天体望遠鏡でいくどもUFOを発見、写真撮影に成功した。1952年11月20日にはカリフォルニア砂漠でUFOから降りて来た宇宙人と会見、その時に渡したフィルムに宇宙人からのメッセージを写したものを、翌月13日に空から受取る(前集「写真で見る空飛ぶ円盤 200集」のP.130-131)など不思議な体験を次々と発見し世界中に大反響をよんだ。その後、アダムスキーは宇宙人に招かれて円盤の母船に乗り込み月へも行って来たと言っている。彼の会った宇宙人は、いずれも我々人間とそう変わらない姿で非常に優れた人格の持主であったという。アダムスキーは宇宙人から学んだ宇宙哲学を普及する努力を続けたが、ついに1965年74才でこの世を去った。

空飛ぶ円盤 200集」のP.130-131)など不思議な体験を次々と発見し世界中に大反響をよんだ。その後、アダムスキーは宇宙人に招かれて円盤の母船に乗り込み月へも行って来たと言っている。彼の会った宇宙人は、いずれも我々人間とそう変わらない姿で非常に優れた人格の持主であったという。アダムスキーは宇宙人から学んだ宇宙哲学を普及する努力を続けたが、ついに1965年74才でこの世を去った。



美人型の宇宙人

この地球上に現われる宇宙人の中には整った顔だちをした人間と変わらない容姿のものがあるらしい。有名な円盤研究家ジョージ・アダムスキー(故人)は何度もそういう宇宙人に会った。これはアメリカカリフォルニアのアダムスキーの講演会場に現われた謎の美人で、会場にいたブラジルの記者ジョアン・マルタンが撮影したたった1枚の写真である。彼女?は忽然と会場に現われ大勢の人々の質問に何一つ答えられず、いつの間にか姿を消して2度とこの世に現われることがなかった住所性別年齢国籍不明の怪人物で会場にいた人々によってあれは宇宙人だと囁かれた。よく見ると、目・鼻・唇が異常に大きく、顔が広く髪の毛は頭に貼りついているように薄い。



(右上)アダムスキーの撮った円盤の母船。窓に宇宙人らしい影が見える。
(右下)母船から飛び立つ円盤群。
(左上・下)円盤のクロースアップ。(この型はアダムスキータイプの円盤と呼ばれている。)



これはアメリカニュージャージー州のフランク・ストレンジ博士のUFO研究サークルの会合に現われた「ヴァリアント・ソー」と名乗る宇宙人を、オーガスト・ロバーツが秘かに望遠レンズで撮影したものといわれている。彼の話によると、写真手前の紙片を持ったのが「ソー」で、その隣の2人の男女も宇宙人らしいとのことである。そういえば、この3人だけが何故かとびぬけて整った顔だちをしていて、メイキャップをした俳優のように美男美女であったところが興味深い。いずれにしても、これらの写真にういては詳細がわからず真偽不明である。



アブダクション (誘拐)



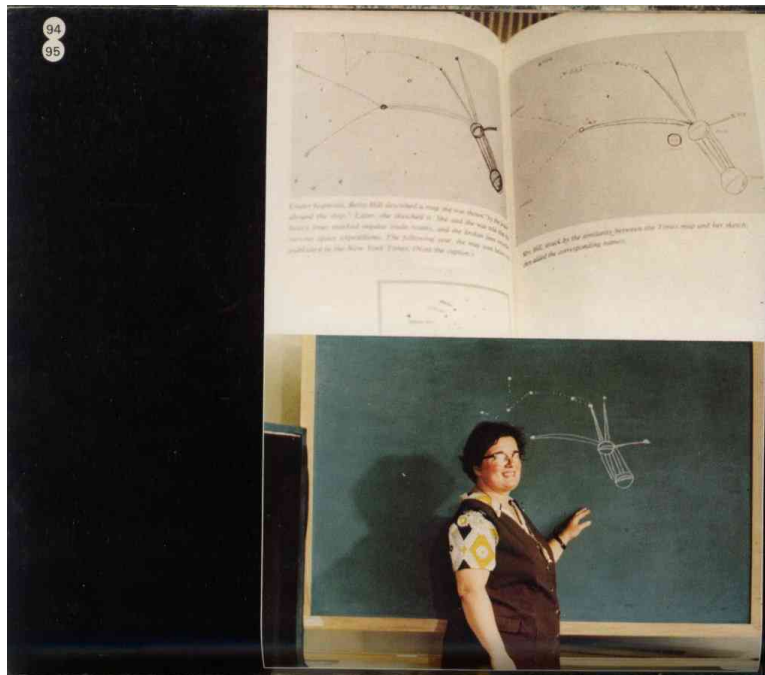
92
93

アメリカの
ベティ・ヒル夫人は宇宙人に
記憶を消された!!

1971年9月11日。故バーニ
とベティのヒル夫妻は世にも
不思議な体験をした。その日
2人はナイアガラの滝見物に
出かけた帰り、ニューハンプ
シャー州ポーツマスへ愛車を
走らせていた。コルブルック
という所を通り過ぎたあたり
から円盤らしいものに尾行
されているのに気が付いた。
すると、その円盤が見る見る
うちに大きくなり2人に向っ
て飛んで来るではないか。そ
してとうとう目の前に着陸し
た……と思った瞬間、2人の
記憶はなくなり、次に気が付
いた時は自宅近くのハイウェ
イを車で走っていたのである。
帰宅してから時間を計ると、
2人の記憶に2時間の空白が
あることがわかった。その後
心理学者のベンジャミン・サ
イモン博士が2人に催眠術を



かけて記憶を引き出してみ
ると、2人は宇宙人に円盤の中
へ連れ込まれ身体検査をされ
たあと記憶を消されて帰され
たのである。ベティ・ヒル夫
人はその時の宇宙人の顔を想
い出し92ページの絵を描いた。
また、宇宙人が見せてくれた
彼等の星から地球までの航行
図も思い出し、その図も描い
て発表した。この星間航行図
から次に述べるような大変な
事がわかったのである。
(p92)ベティの描いた宇宙人
の顔
(p93)ヒル夫妻とベティ夫人



94
95

ついに解明された
宇宙人の基地星

ベティ・ヒル夫人の発表した
星間航行図を9年間もかかっ
て研究した結果、ついに宇宙
人の基地星を発見した人がい
る。オハイオ州オークハーバ
ーに住む小学校の数学の先生
マージョリー・フィッシュサ
ンは、1964年に発表されたヒ
ル夫人の星間航行図を確かめ
てみようと思ひ立ち、来る日
も来る日も天文台や大学の天
文学教室へ通い精密な星座表
を手に入れて天文学の勉強に
明け暮れた。星座表をもとに
星座の立体模型を作り、毎日
あらゆる方向から眺めた。宇
宙人がヒル夫人に見せた星間
航行図は、いったいどの方角
から見て描いたのか……三次
元のもの平面に描いたもの



だからわからないからである
ある日、ついに図にびつたり
の位置にある星を発見したの
である。しかも驚いたことに
図にあった3つの正三角形を
なしている星は、1969年にな
るまで地球上では発見されて
いなかった星だったのである。
1961年に宇宙人に見せてもら
い1964年にその図を発表した
ヒル夫人がこの3つの星の存
在を知っているわけがない。
宇宙人だからこそこれらの星
を知っていたのであり、ヒル
夫妻は本当に宇宙人に会った
のだとしか考えられないので
ある。(ミシシッピ州に現わ
れた宇宙人からここまでの詳
細は前者「空飛ぶ円盤を追っ
て」を参照されたい)
(p94の上)ヒル夫人の描いた
宇宙人の星間航行図
(同・下)フィッシュさんと星
間航行図
(p95の上)星座の立体模型を
説明するフィッシュさん
(同・下)わかり易く簡単にし
た立体模型

- A は太陽
- B は宇宙人の基地星
- C は1969年に発見された3つの星

マヤの宇宙飛行士？

- 石棺のレリーフ装飾が、古代の宇宙飛行士を描いたものか話題になった。



「UFOとポストモダン」木原善彦

図版⑥：パレンケ遺跡で見つかった石棺のレリーフ装飾の模写図

UFOと宇宙人

- 宇宙は広い。この銀河系だけでも1千億個の星がある。その中には、地球型惑星を持ち、なおかつ液体の水が存在し、生命が発生する環境にあるものも少なくないはず
 - →宇宙人はどこかにいる、と考えるほうが自然でしょう
- しかし、宇宙は広い。地球にやってこれるのだろうか？
 - 銀河系の大きさは約10万光年。太陽の隣の恒星でも4.4光年。
- UFOは見間違いや願望・妄想の産物であると考えたほうが…
- なぜ「ある」と思うのかの心理・どのような宇宙人が妄想されてきたのかの社会学、が面白い(UFOは世につれ…)
 - 「UFOとポストモダン」木原善彦、平凡社新書
- 色々なタイプの宇宙人が「目撃」されています。そのイラストを見ると、人間の想像力(妄想力?)の偉大さを感じます。人間って(いろんな意味で)すごいな、と。

「波動」

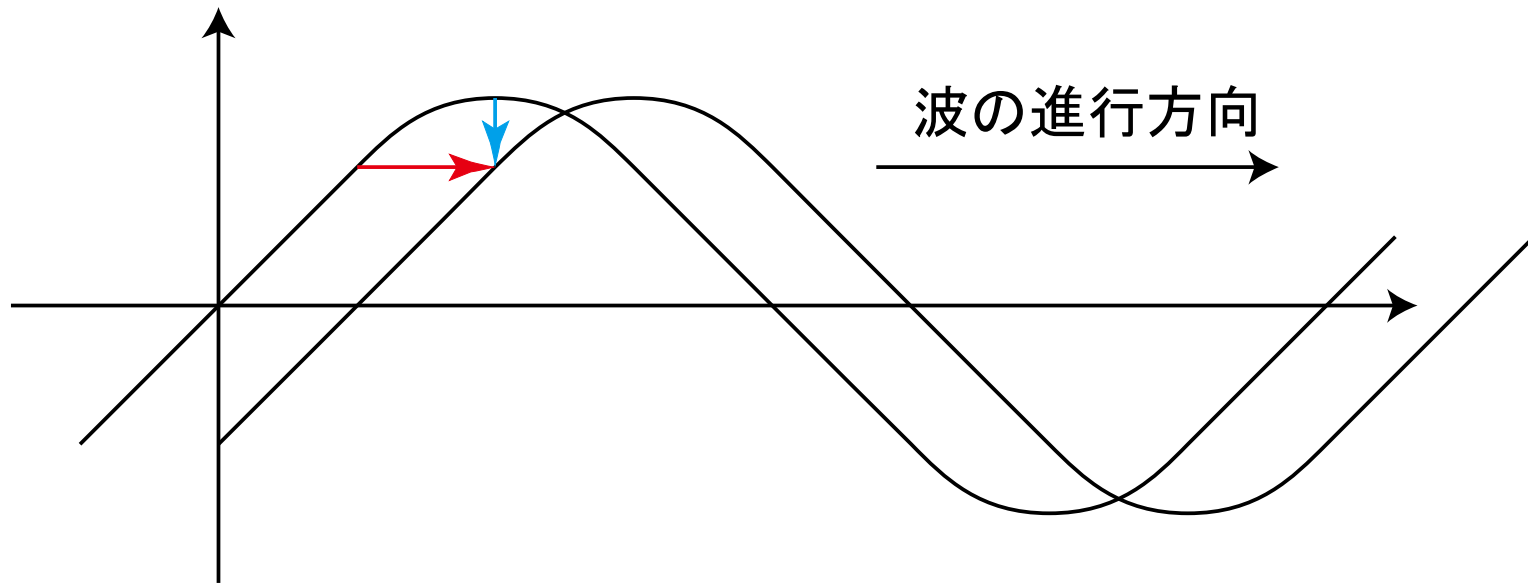
一見、科学っぽいけど…

中身を見ると、そのいい加減さに呆れる
しかし、これをベースにした話が
あちこちで広まっているという現実がある

「水伝」は「波動」理論と密接な関係
「波動」と関係したニセ科学をいくつかご紹介

まずは正しい「波動」の理解

- 要するに「波」です。
- 「波動方程式」で記述される。
 - 単位時間当たりに、同じ高さで空間方向に進む長さと、同じ場所で高さが変化する長さが等しい、という方程式。それだけ。



- 数式でどうなるかはともかく、皆さんが普通思っている波のイメージと同じ(はず)です。

量子力学と波動

- この手の「トンデモ」ニセ科学には、量子力学を使った正当化がしばしば見られるので・・・
- ミクロなスケールでは、日常生活とは違った様子が見えてきます
- すべての物質は、波の性質を帯びます。
 - 二つの物質が干渉したりする
- 「物質波」の波長・・・ $\lambda = \frac{h}{mv}$ （式が出ても思考停止しない！）
 - λ : 波長、 m : 質量、 v : 速度、 h : プランク定数
 - 歩く人間の場合 ($m=60\text{kg}$, $v=1\text{m/s}$)、 $h=6.63 \times 10^{-34}\text{J}\cdot\text{s}$ なので、波長はおよそ 10^{-35}m 、短すぎるので波の性質考えなくて良い

電磁波

- これもあちこちで聞きますが・・・
- 電場(電界)・磁場(磁界)の波
- そして、「光子」という素粒子でもある
 - 波の側面と粒子の側面(量子力学の二面性)
- 波長が約400nm-700nm(ナノメートル)の電磁波が、「可視光線」と呼ばれる。いわゆる、光。
- 波長の短い順に、
 - γ (ガンマ)線、X線、紫外線、可視光線、赤外線、電波
- どれも同じ電磁波、波長が違うだけ
- 光速で伝わる

江本流「波動」の定義(→『水伝』)

- 「波動とはエネルギーの最小単位のことである、と私は考えています。」(江本勝『波動の人間学』p.23)
- 「誰にでもわかるようにエネルギーという言葉进行定義すれば、エネルギーとは『力』のことであり、『すべての物質や精神を含め、それらが存在することの証しとなる単位』とでもなりませんか。」(同、p.24)
- この二つの文章の間に、「理化学辞典」の「エネルギー」の項を引用し、「とても一般の人には理解できない」と言う
- 自分でわからないことを、勝手な思い込みで勝手な定義をし、勝手にわかったつもりになっている。
- なお、力とエネルギーは別物。物理学の第一歩。
 - (エネルギー) = (力) × (距離) 例: 位置エネルギー

比喩と現実の混同

- 「精神のエネルギー」「文字のエネルギー」などと言う場合、エネルギーはあくまで比喩
- 物理学的なエネルギーは計算可能なきちんと定義されたもの。
- (意図的かどうかは分からないが)ここにつけこみ読者を「分かった気にさせ」ている

理解せずにものを言う

- 「例えば後に述べるように、量子力学という学問が、実は60年も前から登場していて、今ではそれが定説となり、毎年選ばれるノーベル物理学賞の受賞者は、ほとんどこの分野の研究者ばかりであるという現実があるのに、私達にはまったくこの学問の内容が理解できません。

この量子力学こそ、実は波動学のことなのです。」

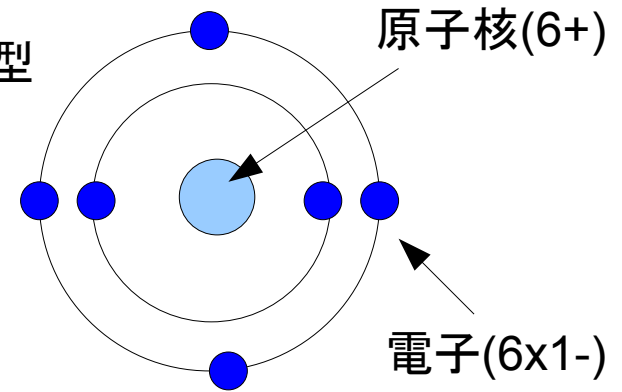
(江本勝『波動の人間学』1994、「まえがき」より)

- 「理解できない」と言っておきながら、「実は波動学のことなのです」とは論理破綻も甚だしい
- 思いつきでしかものを語っていないことの表れ

(ここでちょっと) 物質の最小単位

- 原子は原子核(正の電荷)と電子(負の電荷)から成る

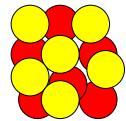
炭素原子の模型



- 原子核は陽子(正)と中性子(中性)から成る

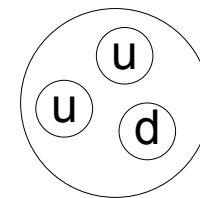
- 陽子・中性子はクォーク3つから成る

炭素原子核
の模型



陽子(6)

中性子(6)



クォークの模型

- クォークには6種類ある

- アップ(u)、ダウン(d)、ストレンジ(s)、チャーム(c)、トップ(t)、ボトム(b)
- 小林誠、益川敏英により1973年に理論的に予言
- 当時はu,d,sまで発見されていた。その後1995年までに順次発見。

江本流の解釈

- 「今ここに、もしそのクオークを、人間が持つ意識そのものであると仮定したらどうなるでしょうか？

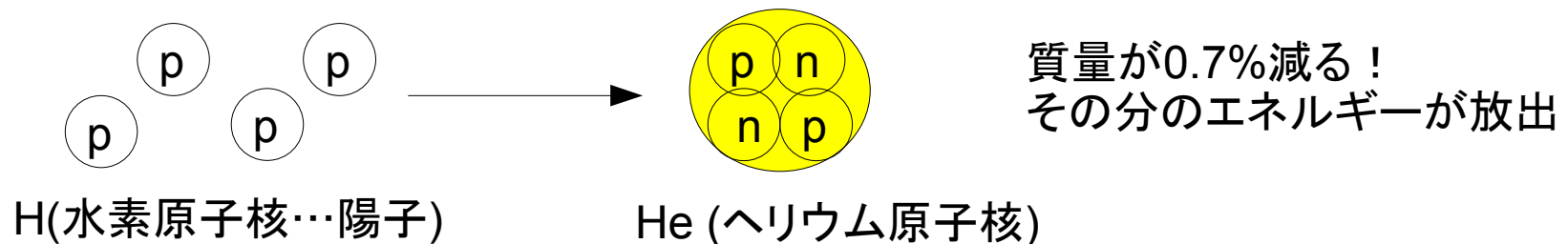
つまり現在謎とされているほとんどのことは、人間の持つ不思議な能力の問題と**いってよいでしょう**。なぜサイババは？なぜユリゲラーは？なぜアダムスキーは？なぜ宜保愛子は？なぜノストラダムスは？なぜ出口王仁三郎は？というようにです。

もし、クオークが人間の意識であり、それが宇宙に充満しているのなら、本来我々人間は誰でもそれらと自由に交信できるはずです。そして、メビウスの輪のように宇宙そのものも輪廻転生を繰り返しているのなら、我々は、過去や現在、そして未来のクオークすなわち意識とも交信できるわけですから、前述したような神秘的なことはいわば朝飯前の出来事のように、受け取られるはずです。」（江本勝『波動の人間学』1994、p.211）

- この後、脳のどの部分がアンテナになっているかの話が続く。

$E=mc^2$

- アインシュタインの特殊相対性理論（光に近い速度で物質が運動するとどうなるか？）
- この理論から、（エネルギー）＝（質量）×（光速）²が導かれる
- たとえば水素→ヘリウムの原子核反応では質量の0.7%、炭素＋酸素→二酸化炭素の化学反応では0.00000001%の減少
 - それに相当するエネルギーが放出される
- 特殊相対性理論はすでに検証済み。
- これが江本氏にかかるとうなるか？



E=mc²の江本流解釈

- 精神免疫論学者(?)のホアン・ヴァン・デューク博士が、江本氏に、「cは、本当は光の速度ではなくて、Consciousness(意識)のcなのですよ」と言う
 - 光速をcと書かなくてもいいのだが…celeritas、ラテン語の「速さ」
- それをもとに、無茶苦茶な計算を展開
 1. 現在の地球規模のエネルギーの総和
 $E=60\text{億(人)} \times 3^2 = 540\text{億エネルギー}$
c=3にする理由は、「現代人の平均で、その使用されている脳神経細胞が3%にすぎないという事実によるものから3と設定した」
 - ★質量を人数で測っている。エネルギーの単位は何？
 - ★3%だったら0.03じゃないの？
 2. …バカバカしいので以下略。
- **仮定がいつのまにか前提に。**

「波動」？

- 江本は相当初期から「波動」に凝っている
- 波動とは、「波動測定器」で測定されるものであるらしい
 - なんだそりゃ
 - 江本らが販売している(高い！)
- 「物質はすべて振動している」「テーブルもリンゴも人体も振動している」「固有の周波数を発し、独特の振動を持っている」これを量子力学を持ち出して根拠付けている
- しかし、量子力学はミクロの世界で重要になり、人体などのマクロの世界では通常の力学で十分
- 人体(マクロな物体)固有の波動など存在しない(科学でわかっていること)

怪しい学会がいくつか・・・

サトルエネルギー学会	平成18年度理事・役員(の一部)
名誉会長	大島 正光 元東京大学医学部名誉教授、医学博士、健康科学研究所 所長
会長	帯津 良一 帯津三敬病院 名誉院長 医学博士
副会長	新家 龍 神戸大学名誉教授
副会長	山野井 昇 東京大学大学院医学系研究科 マイナスイオン応用学会 会長
名誉理事	船井 幸雄 船井総合研究所 代表取締役 会長
名誉理事	村上 和雄 筑波大学 名誉教授
名誉理事	江本 勝 (株)アイ・エイチ・エム総合研究所 所長

船井幸雄:「オカルトビジネスのドン」(「カルト資本主義」齋藤貴男)
この人の本は頭がクラクラしてきます。
しかし、信奉者は非常に多い。→後述

村上和雄:もともとはちゃんとした科学者。高血圧に関する遺伝子研究で有名。
船井系に近づく。ID理論(Intelligent Design)の推進に(結果的に)手を貸してしまっている。
ID理論は創造科学の焼き直し。
創造科学は聖書の記述を絶対化したアメリカ発のキリスト教原理主義。「学校で進化論を教えるな」などの主張をしてきた。
創造科学から宗教色を取ったものがID理論。ただし、事実上、「神」を「偉大なる知性」に置き換えただけ。

江本勝:「水からの伝言」首謀者。「波動」を軸に、ニセ科学を浸透させている急先鋒。
「水伝」は、現在全国の小(中)学校の道徳などで教える教師が多く、問題視されつつある

合同して右翼的イデオロギーへ

- 波動技術実践研究会発足記念フォーラム 船井幸雄グループ・比嘉照夫グループ・江本勝グループ連携イベント 地球と人類向上への実践 続出する波動技術が地球と人類を救う！
- 「(前略)このように世界各国を訪れているうち、ふと気づいたことがあります。何故、国内よりもむしろ西洋に受け入れてもらいやすいのだろうか・・・と。 たどり着いた答えは「初めに言葉ありき」という聖書の「創世記」に出てくる言葉が関係しているのです。これは本来、日本の「言霊信仰」とまったく同じ考え方だと思います。何故、日本が言霊の国だったのかというと、**その根底には「国家神道」があり、加えて民衆の尊敬を集める天皇制があったから**です。そのような日本人のDNAに刻まれた**神や天皇に対しての忠誠心が「日本的純粹波動」**です。しかし、残念ながら、この概念は、**戦後教育の中で失われている**状態です。(後略)」（江本勝、『HADO』2007年11月号、p.5)

歴史学的にもトンデモ

- 国家神道など明治以降の産物
- 戦前の体制の反省・批判の上に、戦後の民主的な体制(教育含む)ができたのではなかったのか

- 船井幸雄・・・「オカルトビジネスのドン」(斉藤貴男による)
- 比嘉照夫・・・元・琉球大学農学部教授、現・名桜大学教授
 - EM菌、船井のバックアップ(宗教団体との関係)
- 波動つながり

怪しい博士号・大学

- 江本勝：代替医療学博士(オープン・インターナショナル・ユニバーシティー)
- 七田真：米国ニューポート大学日本校教育学部教授。教育学博士(ただしどの大学で授与されたかは不明)
- どちらも「ディプロマ・ミル」「デグリー・ミル」(学位製造工場)と呼ばれる大学(金さえ出せば、社会経験などを適当に積み上げて、博士号を出してくれるような大学のこと)。
- 他にも色々。

参考：「『ディプロマ(ディグリー)・ミル』問題について」

国際的な大学の質保証作業部会 国際システムWG報告(文部科学省)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/024/siryou/04010803/006.htm

EM

- EM=Effective Micro-organisms, 「有用微生物群」
- 比嘉照夫が開発、商品化
- 環境対策としても、各地(特に九州・沖縄)で使われている
- 色々なものの一つとしてのEMなら、まだ救いがあるが・・・

山崎 長崎 11版 2006年(平成18年)9月4日 月曜日 享月 日 楽斤

EM菌で海浄化 住民、泥団子を港・干潟に

長崎市茂木町の住民たちが、水質浄化効果があると思われるEM菌(有用微生物群)を混ぜた泥団子で、港や川の環境浄化に取り組んでいる。3日は、地元の小学生や漁協組合員ら約60人が「水よ、きれいなあれ!」と願って、1万個のEM団子を茂木漁港や近くの干潟に投げ入れた。

活動をはじめたのは「茂木の環境を考える会」(山川静子代表)。海の環境が悪化し、近年、漁獲高も減っていることから、若手の茂木漁協組合員や主婦が中心となって03年に結成した。

活動の中で、ヘドロがたまった地元の川の浄化作戦に乗り出すことになり、ヘドロ分解効果があるとされるEM菌で泥団子を作ってみることにした。昨年からは自治会や漁協、PTAなどにも呼びかけ、泥団子作りを始めたという。

EMは、乳酸菌や酵母菌などの微生物を含む培養液。アンモニア、メタンガスなどの汚染物質を分解する働きがあるときされる。

今年度は茂木小学校の児童や住民ら120人が、夏休み前に1万個の泥団子を作った。倉庫で約1カ月半乾燥させ、テニスボールほどの団子が完成。子どもたちは、3日の作業にも楽しそうに参加した。山川代表は「子どもと一緒に活動することで、地元は自分たちで守るといふ姿勢を自然に示すことができます」と話していた。

長崎市茂木町



潮が引いた時を見はからい、泥団子を埋める小学生(長崎市茂木町で)

「効能」

- 汚水の浄化
- 生ごみを肥料に
- パンを焼いたり漬物を漬けたり、洗濯物の劣化防止にも
- 家畜に飲ませたり、畜舎に散布して悪臭防止
- 化学物質、放射線物質、農業による環境汚染、水質汚染、大気汚染、酸性雨、炭酸ガス公害、オゾン層の破壊などを解決
- 健康飲料として！
- 「末期の肝臓ガンが治った」
- 「万能」をうたうのが特徴
- 「いいことだけがあって悪いことがない『本物技術』」(船井幸雄)

実態は . . .

- 「有用」の意味：人間にとって「いい」か「悪い」か。
- 研究者による追試：「有用」とされていた菌が見つからなかったり、使ってみても効果が見られなかったりした
 - 例：公開シンポジウム「微生物を利用した農業資材の現状と将来」
日本土壌肥料学会（主催）
 - おそらく、毒にも薬にもならない？ 少くとも影響はある？
 - いずれにしても、劇的な効果は見られないようである
- 「長年、EMを扱うなかで、あまりに不思議な現象が起きるので、江本さんの著書『波動時代の序幕』を読んだところ、EMが起きているのは『波動』ではないか。『波動』という視点を入れなければ説明できないことだと実感しました。」（比嘉照夫、『HADO』2007年11月号、p.8）
- 「EMさえやっておけば」となるのが最悪
 - 本当にやるべきことから目をそらされてしまう

七田式幼児教育

- 「七田チャイルドアカデミー」全国に教室を持つ
- 幼児教育、早期教育
- ESP(超能力)教育をしている
 - 「子ども達は右脳の共鳴現象によって、左脳の五感的な壁を超えて、超時空的に情報を受け取ります。
右脳は共鳴機能で受け取った波動情報をイメージに変えて理解する機能があります。この二つの機能によって、全盲でも景色が見え、色が見え、字が読み取れます。聴覚機能がなくても、言葉が聞き取れ、理解し、対話することが出来ます。」(七田眞・七田厚『脅威の七田式右脳学習法』p.36)
- 「右脳」「左脳」という通俗的イメージは、証明されていない

超能力教育をしている

- ESPカードを使って、「透視」の訓練
 - もちろん、実際には透視なんてできません。
- 「右脳の開発」に効果があるらしい…
- 「ほめて育てる」を強調し、子育てに不安な母親に寄り添う形で接近する
- しかし「自閉症児は母親から十分言葉をかけてもらわずに育ったために、言語の要である左脳の働きがうまく機能しないのです。」(七田真『どんな子だって必ず伸びる！』PHP研究所、p.34)「自閉症児は学習障害児です。0歳から1歳のときに、ほとんど手をかけず、言葉を学ばせず、放っておいたために、急速に学習に対する意欲を失ってしまい、学ばなくなって学習障害を起こしているのです。」(同、p.42)→母親を脅して不安にさせている
- 現代の知見では、自閉症は器質障害と考えられている。親のせいではない。

「モーツァルト」理系白書も参照

- そこで**日本音楽熟成協会**では鳥取大学医学部の**深田美香助教授**が進める『環境音楽における事業所の精神的ストレス緩和効果把握研究』に参加協力することで音楽熟成効果の医学的解明に乗り出すことになりました。各調査は平成18年1月末より進められ、現在も進行しています。
http://onjyuku.com/k_houkoku.html
- **深田助教授**は「他の音楽にも効果はあるかかもしれず、モーツァルトだけを特別視する材料はない。被験者が少なく、ストレスを左右する他の要因を考慮していない。個人差もある。**統計学的な説得力はない**」と話す。**学会や論文では発表していない**。(理系白書)
- 一方、**深田助教授**は「感情や記憶のある人間だからこそ、音楽が力を持つのだと思う。バナナが影響を受けるという話はどうか。」(同)

日本音楽熟成協会

- [日本音楽熟成協会]役員
- 会長 **七田真**(しちだ・教育研究所会長)
- 特別顧問 **船井幸雄**((株)船井総合研究所名誉会長)
- 常任顧問 足立統一郎(境港商工会議所会頭)
- 顧問 河村健夫(元文部科学大臣)、相沢英之(元経済企画庁長官)、高村正彦(衆議院議員)、赤沢亮正(衆議院議員)、常田享詳(参議院議員)、田村耕太郎(参議院議員)、山東昭子(参議院議員)、片山善博(慶応大学教授・前鳥取県知事)、平井伸治(鳥取県知事)、能勢隆之(鳥取大学学長)、竹内功(鳥取市長)、...
- <http://onjyuku.com/>

「100匹目の猿」現象

- 元は生物学者、ライアル・ワトソンが言い出した。
- 宮崎県・幸島のサルがイモを洗って食べ始め、他のサルがまねを始めた。洗うサルが100匹を越えたとき、大分県・高崎山のサルもイモを洗って食べた。という話。
- 物事にはなにか閾値があり、そこを超えると、「場」が発生して伝播する、と主張(参照:「形態形成場」シェルドレイク、「シンクロニシティ」ユング)
- 「念ずれば通ず」ということで、「ありがとう、愛・感謝と祈りましょう」と江本らがよく使う。
- **船井幸雄がよく言及する**(例えば「百匹目の猿—『思い』が世界を変える」船井幸雄、「『百匹目の猿現象』は右脳から」船井幸雄、七田眞)
- しかしこれは、そもそもがライアル・ワトソンの**作り話**。まったく科学的ではない。

100匹目の猿から何を言うか

- 「起こったことは必要、必然、ベスト」「工業化社会の弊害も必要必然だった」(『百匹目の猿』、p.110)
- 「肯定思考が健全な生き方をつくる」(同、p.126)
- あらゆる不幸、不運は神(あるいは「サムシング・グレート」)の大いなる意思なのである、と諦めを強いる思想
- 自分が変われば世の中も変わる、つまり悪いことは自分の行いが悪いせい、と納得させる思想
- 物言わぬ労働者、進んで支配に服する人間をつくる思想

「船井」本のすごさの例

- 「波動で上手に生きる」船井幸雄、サンマーク出版

「人間の魂が八次元まで行けるのは、魂の波動が電磁波ではなく重力波だからといえるでしょう。重力波はレベルの高い波動で、電磁波の十億倍のスピードで走ります。つまり光の速さの十億倍ですから、宇宙の果てまでわずか二秒で行くことができると考えていいものです。」(p.94)

- 魂？
- 八次元？
- 魂の波動？
- 重力波とは空間の歪みが伝わる波。一般相対性理論。
- 重力波のレベルっていったいなに？
- 重力波の速さは光速、つまり電磁波と同じ。
- 仮に光速の十億倍だとしても、宇宙の果てまでは10年以上かかる（宇宙の果てまで光速で137億年、その10億分の1は13.7年）

物理学の用語を勝手に使いまわし、勝手な解釈を与え、妄想に満ちた議論を展開する。

TAMA300

- 世界で最初に稼動した、重力波干渉計。
- 東京・三鷹の国立天文台内にある。
- 現在、次世代干渉計を開発中(神岡)。



つづき

- 同じ本の「まえがき」

「『思い』も波動です。波動には優位の波動と劣位の波動があり、より優位の波動が劣位の波動をコントロールできる、というのが波動の性質の一つですが、この世の中で最高の波動は、宇宙を創造した何か偉大な存在(サムシング・グレート)の『思い』、すなわち宇宙の意思だと考えられます。ですから、宇宙の意思はすべてをコントロールできるのです。私たちは、宇宙の意思に反するような生き方をすべきではないでしょう。」

- 波動に優位も劣位もない
- しかも、優劣に価値観が入り込んでいる
- それを正当化するため、something greatなるものを持ち出す
- 一種のID理論？「神」を言い換えたもの？
- 宇宙の意思に従え、と言っているが、宇宙の意思の内容は船井が勝手に言っているだけ。
- 要するに、「一般人は考えるな。上の言うことに従っとけ。」と物言わぬ民、黙って働く労働者を作ろうというイデオロギー。どんなにつらくても、感謝せよ、と。

「波動」ビジネス、そして・・・

- こういう本が、ここ数年特によく売れているらしい
- 誰が買う？ 経営者？ 企業の重役（経営側）？
- 経営色を薄めた「波動本」は、普通の人にもうれているようだ
- ニューエイジ思想の現代版？
- 船井氏の本業（経営コンサルタント）は、それはそれで成功しているようだが、だからと言って、今見たような無茶苦茶な理屈が正当化されるわけでは**まったくくない**。
 - 技術と科学の違い
- 「思い」を通じて、「スピリチュアル（霊的）」につながる思想
- 諸問題をすべて「自分のせい」にする→外的な問題に目を向けさせず、「自分が変わればすべて良くなる」と思い込ませる
- **ニセ科学問題は、社会とつながっている。**

最後に

- この4回では、社会に蔓延するニセ科学の典型例として、血液型性格判断、マイナスイオン、水伝、その説明理論としての波動(+UFO・宇宙人)を取り上げました。
- ニセ科学の○×をつけることが本意ではありません。これらについてはケーススタディとして理解してもらいたいと思います。
 - ニセ科学性にも種類があります。物事を科学的・批判的に見る目を養う題材として理解してください。
 - 科学的命題・価値的命題の区別。
- 他にもとりあげたいものは色々ありました。スピリチュアル、オカルト等々(オウム真理教をくりかえさない)も含めて。信じるにせよ批判するにせよ、ぜひ、問題意識を持って眺めて欲しい。
- **だまされないために、そして、知らず知らずのうちに、他人をだまさないために。**

最後に

- この4回分のスライドは、私の web page で公開します(今回の分も、近日中に公開します)。
 - <http://astro.edu.nagasaki-u.ac.jp/~masa/lecture/>
- 今日書いてもらう報告用紙に載せられた質問・コメント等についても、(時間があれば)私の web page でコメントをつけて紹介したいと思います。
- ニセ科学の世界は、広く・楽しく・恐ろしい。質問や意見があれば、いつでも来てください。なるべく対応します。「オマエはまちがった」としてもOKです。
 - 無闇やたらと信じるよりは健全かも？

※次回から担当が変わります。引き続き、41番教室です。